

平成23年度  
予算に関する

# 大綱質疑

平成23年度予算案全体に対して、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

## 福祉・教育

**問** 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費負担分はいくらになるのか。

**答** 子宮頸がんは五七二人分、ヒブワクチンは一、二三五五五、〇〇〇円、小児用肺炎球菌は一、八三六万九、〇〇〇円を見込んでいます。この九〇パーセントが公費負担の基準額で、その二分の一が国の補助になります。



**問** 子宮頸がんワクチンの補助金は、副作用や中学生への接種などの可否についてよく勉強してから支出するか検討してはどうか。

**答** あくまでも任意接種ですので、今後、医師会、予防接種対策協議会と十分協議し、前向きに検討していきたいと思えます。

**問** ヒブワクチンで死亡者が出たことは、市にも通達が来ているのか。

**答** 現在六名の死亡が確認されており、県から市内の医療機関、医師会に連絡がありました。今後は詳細な調査をした上で、国の動向を見ながら安全性を確認し、実施したいと考えています。

六八〇世帯で、一日の利用者は今のところ横ばいの状況です。時間の問題や利用者の利便性については、以前にも質問をいただいて改善を図っており、担当課で努力しているところです。

**問** 岩瀬福祉センターの土地借り上げ料一九九万九、〇〇〇円に対し、真壁福祉センターの賃借料が五三一万四、〇〇〇円と開きが非

## 上下水道

**問** 上下水道事業の普及率は伸びているが岩瀬地区の有収率がかかり落ちてきている原因は、老朽管・石綿管等の更新を行っているためなのか。現在、岩瀬地区の老朽化された石綿管はどのくらいの距離があるのか。

**答** 有収率は六七％で、低い理由は、岩瀬地区においては、石綿セメント管における漏水事故が多いためだと思われる。平成二十一年度の実績では二九二件の

常に大きいのが、理由は。 **答** 岩瀬が三、一七二平方メートルで単価が六三〇円。真壁が一六六二七平方メートルで単価が五〇〇円で借りています。

**問** 大和公民館の雨漏り修理代は予算化されているのか。 **答** 大和体育館管理事業の修繕料三三万円の中に含まれています。

**問** 下水道の普及率が低く、健全な経営状況に支障を来しているということだが、現状と対策は。 **答** 普及率は平成二十三年

〇円下がつています。年間では、前年度と比較すると受水費が一、二〇〇万円から一、三〇〇万円の減額となります。

## 通信・ネットワーク

**問** 茨城ブロードバンドネットワーク運用管理負担金三三三万八千五百〇〇円と地域情報通信基盤整備事業一、四三四万一千〇〇〇円の内容は。 **答** ブロードバンドネットワーク運用管理負担金は、県と市町村を光ファイバーで結んで情報格差の是正、産業の振興、行政サービスの効率化などを求めたネットワークの運用にかかる負担金です。

**問** 地域情報通信基盤整備事業の一、四三四万一千〇〇〇円は、本年度は、真壁地区・大和地区の光ファイバー整備の運営事業費で、全体的に委託料、使用料及び賃借料で計上しています。 **問** 市のブロードバンド基盤整備では、岩瀬地区は民

二月二十一日現在で三五・七パーセントです。加入者は増えていますが、供用開始の地区が広がり、区内処理対象人口も増加するため、接続率としては上がらないのが現状です。また供用開始が遅かったため、浄化槽による水洗化が多いという要因もあると思えます。

設民営方式だが、大和・真壁地区に関しては、公設民営方式になったのか。 **答** 旧岩瀬地区は、NTT自身が整備をしてもそれなりの収益があり、企業としての経営が成り立ちますが、大和・真壁地区については整備費用などの差し引きを考えた場合には、民営ではできない実態があります。市としては企業誘致、市民の利便性を考えた場合に、早急に光ファイバーの設置が必要だということです。

**問** 地域情報通信基盤整備推進交付金は返還しなければならぬのか。 **答** 交付金の返還は決まっています。収益が出てくると想定された場合には、国でも指針的なものは示されています。

〇円は、本年度は、真壁地区・大和地区の光ファイバー整備の運営事業費で、全体的に委託料、使用料及び賃借料で計上しています。

## 岩瀬駅の整備

**問** 公設民営方式で整備された地域について、市では今後、どのような利用方法を考えているのか。 **答** 市内の企業は一分一秒を争うような中で運営をしているので、非常に要望があります。企業誘致に十分生かされますし、一般市民向

**問** 岩瀬駅跨線歩道橋と駅舎整備事業実施設計業務委託料八、〇〇〇万円は、基本設計ができていないのに計上するのは無理があるのではないのか。 **答** 合併特例債でこの事業を行う場合、合併後五年半を過ぎており、十年の期間の中で実施するための期間的な問題もあるので、今回計上しました。

**問** 合併特例債事業などで、三常任委員会合同で委員会を開いて説明をお願いしたい。 **答** 今後は、三常任委員会

でもデジタルコンテンツということでも予算も計上しています。パソコンのシステムを利用した中で、学校の教材としての利用や市の観光、情報を早く伝えていくことを、光ファイバーを利用した事業で推進していきたいと考えています。

で説明をしながら、最終的な基本設計、基本調査の報告を上げるようにしていきたいと考えています。

**問** 岩瀬駅関連の事業は一〇億円以上の投資が必要であるが、財政難の今必要な事業なのか。費用便益分析のようなものを行い、議会に公表して事業実施の説明を行うべきではないか。 **答** 平成二十一年度から関係機関と相談している中で、JRなどから橋上化という話があり、議会の全協などでも報告していると思

います。その中で跨線歩道